

2027年3月期 第2四半期

決算ダイジェスト

－　2026年11月9日現在　－

豊和銀行



豊和銀行

目 次

Contents

1.	2026年9月期決算ハイライト	2
2.	損益の状況	3
3.	資金利益の状況	4
4.	貸出金の状況	5
5.	預金（譲渡性預金を含む）の状況	6
6.	信用コストの状況	7
7.	不良債権の状況	8
8.	有価証券の状況	9
9.	預かり資産の状況	10
10.	自己資本比率	11
11.	業績予想	12
12.	経常収益と経常利益、中間純利益の推移	14
13.	経営強化計画の達成状況	15
14.	トピックス	16

豊和銀行

（単位：百万円、％）

- 主要指標 -

	2022年9月期 実績	2023年9月期 実績	2024年9月期 実績	2025年9月期 実績	2026年9月期 実績
経常収益	4,791	5,387	5,433	5,792	6,308
コア業務純益（※1）	719	685	903	863	1,103
経常利益	530	467	1,004	639	689
中間純利益	474	321	888	408	348
信用コスト（※2）	206	246	△ 165	390	459
自己資本比率	9.21	9.24	9.71	8.55	8.45

※1 コア業務純益とは、銀行の本来の業務（預金・貸出金・手数料収入など）による収益力を示す指標です。
※2 信用コストとは、お客さまへの貸出金が回収できなくなるおそれに備えて計上する費用のことです。

豊和銀行

（単位：百万円、%）

- 主要財務計数 -

	2025年9月期	2026年9月期	2025年9月期比
経常収益 ①	5,792	**6,308**	515
コア業務粗利益（※1） ②	4,272	**4,607**	334
資金利益 ③	4,217	**4,479**	261
うち貸出金利息 ④	4,253	**4,706**	453
役務取引等利益 ⑤	65	**137**	72
その他業務利益（除く国債等債券損益） ⑥	△ 9	**△ 9**	△0
経費（△） ⑦	3,409	**3,504**	94
コア業務純益（※2） ⑧	863	**1,103**	240
国債等債券損益 ⑨	△ 141	**△ 16**	124
業務純益（一般貸倒引当金繰入前） ⑩	721	**1,086**	364
経常利益 ⑪	639	**689**	49
特別損益 ⑫	△ 15	**2**	17
法人税等合計（△） ⑬	215	**343**	127
中間純利益 ⑭	408	**348**	△ 60
信用コスト ⑮	390	**459**	69
自己資本比率 ⑯	8.55	**8.45**	△ 0.10

※1 コア業務粗利益②=資金利益③+役務取引等利益⑤+その他業務利益（除く国債等債券損益）⑥

※2 コア業務純益⑧=コア業務粗利益②－経費⑦

◆ 総括

当中間期は**経常利益⑪ベースでは増収増益、中間純利益⑭ベースでは増収減益**の決算となりました。**資金利益③**及び**役務取引等利益⑤**は共に増加し、**本業の収益力は向上しました。**他方、**一部の大口のお客さまの再生支援に伴い信用コスト⑮は増加**したものの、**経常利益⑪は前年同期を上回り、増益**となりました。**中間純利益⑭**は**法人税等合計⑬が増加**したことで**減益**となりました。以上より、**総じて健闘した決算と評価しております。**

◆ 経常収益 ①

貸出金利息④の増加等により、前年同期比**5億15百万円増加**し、**63億8百万円**となりました。

◆ コア業務粗利益②・コア業務純益⑧

コア業務粗利益②は、**資金利益③**および**役務取引等利益⑤**がともに**増加したこと**で、前年同期比**3億34百万円増加**し、**46億7百万円**となりました。他方、**経費⑦**は**ベースアップなどの処遇改善の影響で人件費が増加し**、同**94百万円増加**しました。その結果、**コア業務純益⑧**は同**2億40百万円増加の11億3百万円**となりました。

◆ 信用コスト ⑮

お客さまの業績回復に伴う引当金の戻入による「一般貸倒引当金繰入額」のマイナスや、償却債権の回収が順調に進み「償却債権取立益」が増加したこと等、**信用コストの減少要因はあったものの**、他方で、**一部の大口のお客さまに対する再生支援**などお客さまの状況に合わせた適切な引当を実施した結果、**「貸出金償却」、「個別貸倒引当金繰入額」が増加**となり、**信用コスト全体では前年同期比69百万円増加の4億59百万円**となりました。

◆ 自己資本比率 ⑯

前年同期比**0.10%ポイント低下**し、8.45%となりました。

豊和銀行

（単位：百万円）

- 資金利益 -

	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期	2025年9月期比
資金利益（②－⑥） ①	4,073	4,217	**4,479**	261
資金運用収益 ②	4,163	4,722	**5,368**	646
貸出金利息 ③	3,782	4,253	**4,706**	453
有価証券利息配当金 ④	301	367	**503**	135
その他 ⑤	79	100	**157**	57
資金調達費用 ⑥	90	504	**889**	384
預金利息 ⑦	87	501	**874**	372
譲渡性預金利息 ⑧	2	3	**15**	11

（単位：%）

- 利鞘 -

	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期	2025年9月期比
資金運用利回り ⑨	1.37	1.60	**1.81**	0.21
貸出金利回り ⑩	1.78	1.97	**2.14**	0.17
有価証券利回り ⑪	0.51	0.61	**0.85**	0.24
資金調達原価 ⑫	1.15	1.38	**1.54**	0.16
預金等利回り ⑬	0.03	0.17	**0.31**	0.14
総資金利鞘（⑨－⑫） ⑭	0.22	0.22	**0.27**	0.05

◆ 資金利益 ①

資金運用収益②（主に貸出金利息③）の増加に伴い、前年同期比**2億61百万円増加**し、**44億79百万円**となりました。

◆ 貸出金利息 ③

これまでの**政策金利の利上げを背景とした貸出金利の改善**に加え、**企業の設備資金需要等を背景に事業性貸出金が増加**したことから、前年同期比**4億53百万円増加**し、**47億6百万円**となりました。

◆ 預金利息 ⑦

預金利回りの上昇により、前年同期比**3億72百万円増加**し、**8億74百万円**となりました。

◆ 貸出金利回り ⑩

前年同期比**0.17%ポイント改善**し、**2.14%**となりました。

《短期プライムレート（当行）の引き上げ状況》

- 2025.03.24~ ＋0.25%ポイント
- 2026.02.27~ ＋0.25%ポイント
- 2026.09.01~ ＋0.25%ポイント
- 2026.12.01~ ＋0.25%ポイント（予定）

◆ 預金等利回り ⑬

前年同期比**0.14%ポイント上昇**し、**0.31%**となりました。

《普通預金金利の金利水準推移》

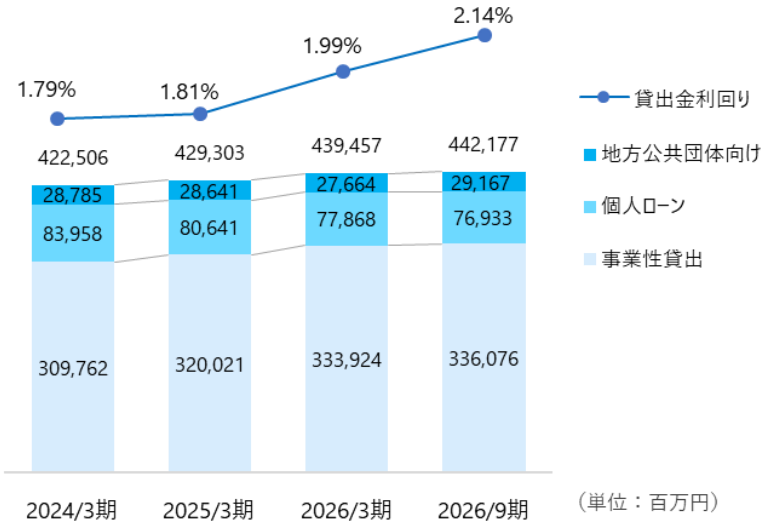
- 2025.03.24~ 0.20%（変更前 0.10%）
- 2026.02.27~ 0.30%
- 2026.09.27~ 0.40%
- 2026.12.01~ 0.50%（予定）

豊和銀行

（単位：百万円、%）

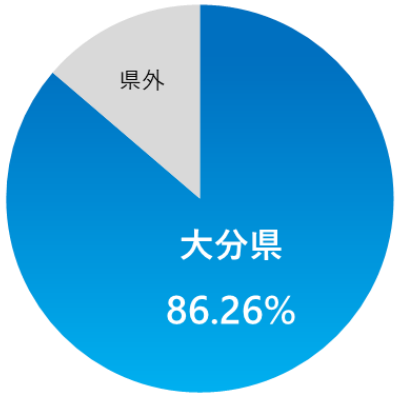
- 貸出金 -

	2025年3月末	2026年3月末	2026年9月末	2026年3月末比
貸出金（期末残高）	429,303	439,457	**442,177**	2,720
事業性貸出	320,021	333,924	**336,076**	2,152
個人ローン	80,641	77,868	**76,933**	△ 934
うち住宅ローン	59,544	57,053	**56,424**	△ 628
うちその他ローン	21,096	20,815	**20,509**	△ 306
地方公共団体向け	28,641	27,664	**29,167**	1,503
貸出金（平均残高）	424,928	432,328	**438,630**	6,301
大分県内向け貸出金（期末残高）	374,817	379,282	**381,460**	2,178
大分県内向け貸出金（比率）	87.30	86.30	**86.26**	△ 0.04



（単位：百万円）

大分県内向け貸出金残高の割合



◆ 貸出金（期末残高）

事業性貸出や地方公共団体向け貸出の増加額が、**個人ローンの減少額を上回った**ことから、**貸出金（期末残高）**は前年度末比**27億20百万円増加**し、**4,421億77百万円**となりました。

◆ 貸出金（平均残高）

事業先向けの資金需要の増加や、新規取引先の開拓等が寄与したことから、**貸出金（平均残高）**は前年度比**63億1百万円増加**し、**4,386億30百万円**となりました。

◆ 大分県内向け貸出金残高

貸出金の86.26%が県内向けであり、**地域に根差した取引基盤**が**維持**されています。

◆ 貸出金利回り

前年度末比**0.15%ポイント上昇**し、**2.14%**となりました。

《短期プライムレート（当行）引き上げ状況》

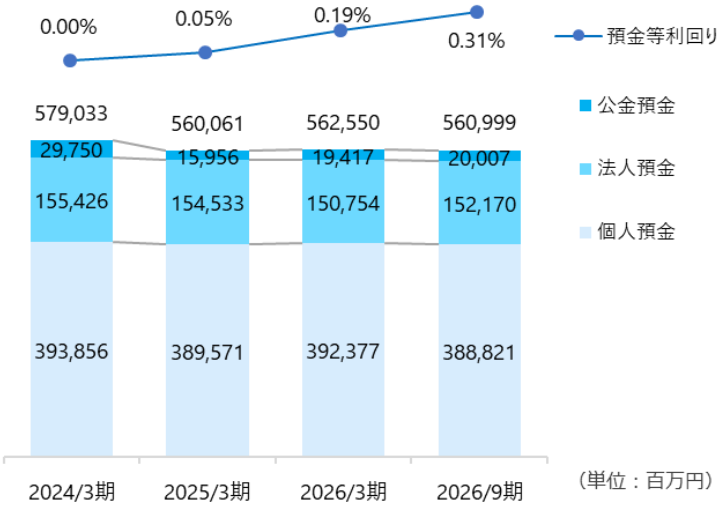
- 2025.03.24　＋0.25%ポイント
- 2026.02.27　＋0.25%ポイント
- 2026.09.01～　＋0.25%ポイント
- 2026.12.01～　＋0.25%ポイント（予定）

5. 預金（譲渡性を含む）の状況

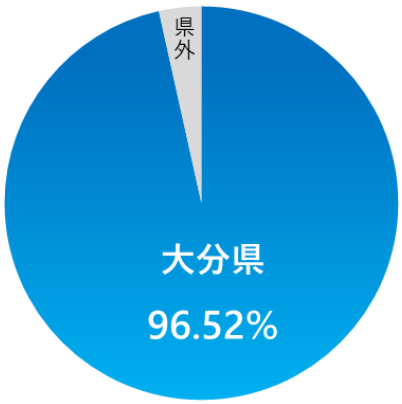
（単位：百万円、%）

- 預金 -

	2025年3月末	2026年3月末	2026年9月末	2026年3月末比
預金（期末残高）	560,061	562,550	**560,999**	△ 1,550
個人預金	389,571	392,377	**388,821**	△ 3,556
法人預金	154,533	150,754	**152,170**	1,415
公金預金	15,956	19,417	**20,007**	590
預金（平均残高）	581,237	562,130	**565,692**	3,562
大分県内預金（期末残高）	539,587	544,715	**541,483**	△ 3,231
大分県内預金（比率）	96.34	96.82	**96.52**	△ 0.30



大分県内のお客さまの預金残高の割合



◆ 預金（期末残高）

預金（期末残高）は、**法人預金や公金預金は増加した**ものの、**個人預金の減少を補うには至らず**、前年度末比**15億50百万円減少し**、**5,609億99百万円**となりました。

◆ 預金（平均残高）

預金（平均残高）は、**総じて堅調に推移した**ことから、前年度末比**35億62百万円増加し**、**5,656億92百万円**となりました。

◆ 大分県内のお客さまの預金残高

地元のお客さまに支えられ、**預金の96.52%を県内のお客さまからお預かりしています。**これからも**地域に寄り添った金融サービスをご提供してまいります。**

◆ 預金等利回り

前年度比**0.12%ポイント上昇し**、**0.31%**となりました。

《普通預金金利の金利水準推移》

- 2025.03.24~ 0.20%（変更前 0.10%）
- 2026.02.27~ 0.30%
- 2026.09.27~ 0.40%
- 2026.12.01~ 0.50%（予定）

豊和銀行

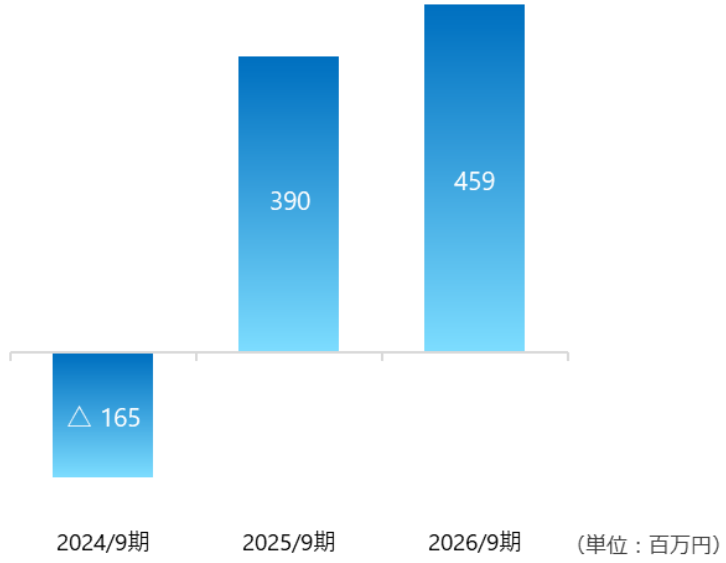
（単位：百万円）

- 信用コスト -

	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期	2025年9月期比
信用コスト（①＋②）	△165	390	**459**	69
一般貸倒引当金繰入額①	－	△137	**△182**	△45
不良債権処理額②	△165	527	**641**	114
貸出金償却	208	414	**546**	132
個別貸倒引当金繰入額	－	214	**257**	42
債権売却損益	1	－	**－**	－
貸倒引当金戻入益（△）	258	－	**－**	－
償却債権取立益（△）	149	106	**187**	81
その他	35	4	**25**	20

◆ 信用コストの推移

お客さまの業績回復に伴う引当金の戻入による「一般貸倒引当金繰入額」のマイナスや、償却債権の回収が順調に進み「償却債権取立益」が増加したこと等、**信用コストの減少要因はあったものの**、他方で、**一部の大口のお客さまに対する再生支援など**お客さまの状況に合わせた適切な引当を実施した結果、「**貸出金償却**」、「**個別貸倒引当金繰入額**」**が増加**となり、**信用コスト全体では前年同期比69百万円増加の4億59百万円**となりました。



豊和銀行

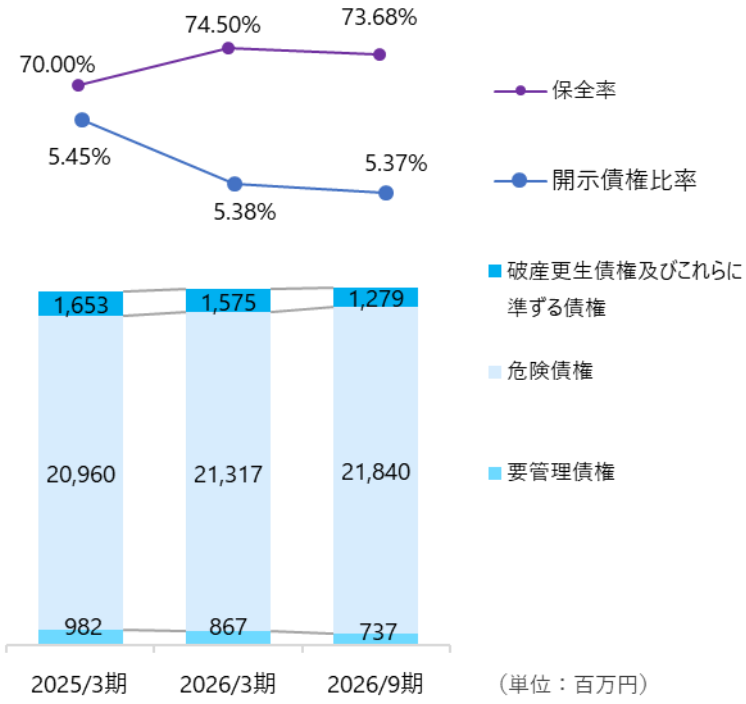
（単位：百万円、％）

- 不良債権 -

	2025年3月末	2026年3月末	2026年9月末	2026年3月末比
金融再生法開示債権①	23,597	23,760	**23,857**	97
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,653	1,575	**1,279**	△ 296
危険債権	20,960	21,317	**21,840**	522
要管理債権	982	867	**737**	△ 129
正常債権	408,718	417,658	**420,242**	2,584
総与信②	432,315	441,418	**444,099**	2,681
開示債権比率（①÷②）	5.45	5.38	**5.37**	△ 0.01
保全率	70.00	74.50	**73.68**	△ 0.82

◆ 不良債権の推移

開示債権比率(＝不良債権比率)は**金融再生法開示債権①**は**97百万円増加**したものの、**正常債権の増加**などにより**総与信が拡大したこと**から、前年度末比**0.01%ポイント低下の5.37%**となりました。



8. 有価証券の状況（評価損益・残高・デュレーション）

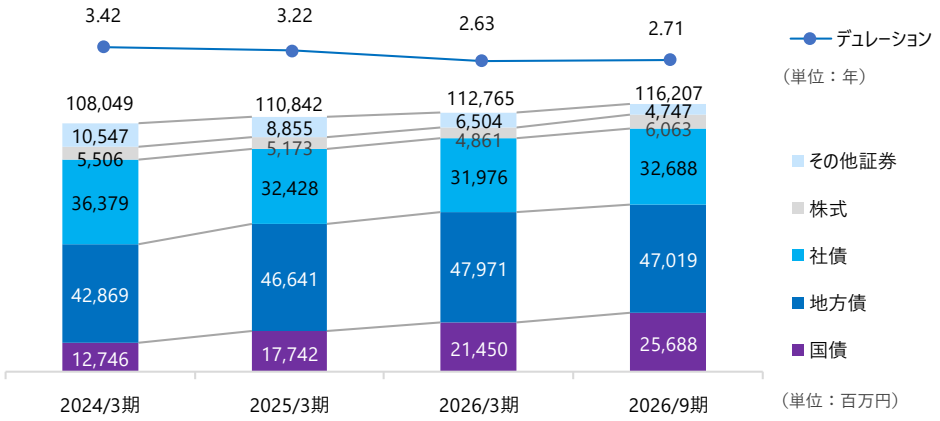
豊和銀行

（単位：百万円）

- 有価証券評価損益 -

	2025年3月末	2026年3月末	2026年9月末	2026年3月末比
満期保有目的の債券①	△ 25	△ 49	△ 65	△ 15
地方債	△ 25	△ 49	△ 65	△ 15
その他有価証券②	△ 1,718	△ 1,279	△ 1,000	279
債券	△ 2,755	△ 3,463	△ 4,296	△ 832
国債	△ 735	△ 1,035	△ 1,267	△ 232
地方債	△ 1,228	△ 1,427	△ 1,798	△ 371
社債	△ 790	△ 1,000	△ 1,229	△ 228
株式	1,640	2,322	3,565	1,242
その他の証券	△ 604	△ 138	△ 269	△ 130
合計（①＋②）	△ 1,743	△ 1,329	△ 1,065	264

有価証券残高、デュレーション（平均回収期間）



◆ 満期保有目的の債券 ①

満期保有目的の債券①に係る**有価証券評価損益**は、金利上昇の影響などにより**評価損の状態**となっていますが、**満期保有目的の債券①は、満期まで保有することを前提としており、償還時には額面で回収されること**から、**現在の評価損は償還時に解消される見込みです。**

＊満期保有目的の債券：価格変動による売買益を目的とせず、満期まで保有し利息収入等を得ることを目的とした債券

◆ その他有価証券 ②

債券（国債・地方債・社債）の評価損益は、金利上昇に伴う債券価格の下落等により、**42億96百万円の評価損**となりました。他方、**株式の評価損益は35億65百万円の評価益**となりました。

その結果、**その他有価証券②の評価損益**は、前年度末比**2億79百万円改善**し、**10億円の評価損**となりました。

◆ 有価証券残高

有価証券残高は、前年度末比**34億42百万円増加**し、**1,162億7百万円**となりました。**市場環境の不透明感が続くなか、金利動向や信用リスクに留意しつつ、流動性の確保を図るため、国債や社債を中心とした債券の積み増し**を行っています。

◆ デュレーション（平均回収期間）

有価証券のうち債券（国債・地方債・社債等）のデュレーション（平均回収期間）は、前年度末比**0.08年延び、2.71年**となりました。引き続き、**金利動向を踏まえ、債券のデュレーション（平均回収期間）を短めにすることで、金利上昇に対するリスクを抑えた健全な運用**を行ってまいります。

豊和銀行

（単位：百万円、件）

- 預かり資産 -

	2025年3月末	2026年3月末	2026年9月末	2026年3月末比
預かり資産残高	48,919	51,721	**55,646**	3,925
投資信託	13,036	14,247	**16,507**	2,260
個人年金保険	34,665	35,585	**36,020**	434
公共債	1,217	1,888	**3,119**	1,230
NISA口座数	5,004	5,646	**5,682**	36
NISA残高	3,120	4,545	**5,813**	1,267

※個人年金保険については、残高の把握が困難なことから、販売累計額を使用しております。

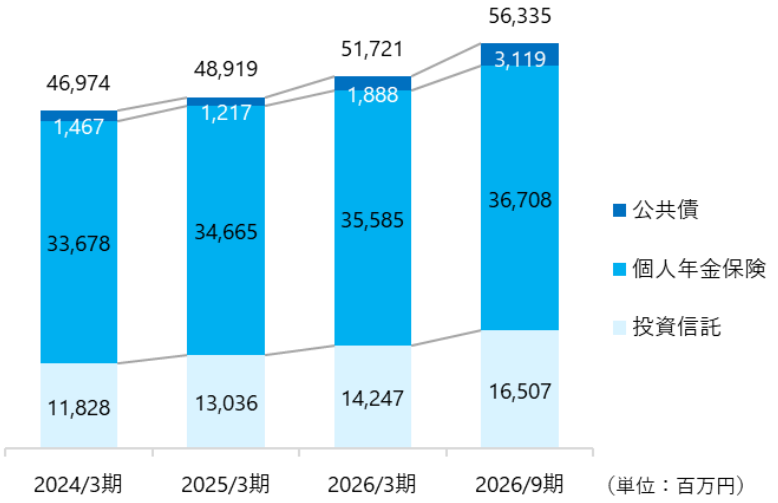
◆ 預かり資産残高（投資信託、個人年金保険、公共債）

日本銀行の金融政策見直しに伴う金融環境の変化や資産運用ニーズの高まりを背景に、**個人向け国債を中心とした公共債残高が大きく増加した**ほか、**投資信託や個人年金保険も堅調に推移**したことから、**預かり資産残高**は前年度末比**39億25百万円増加**し、**556億46百万円**となりました。

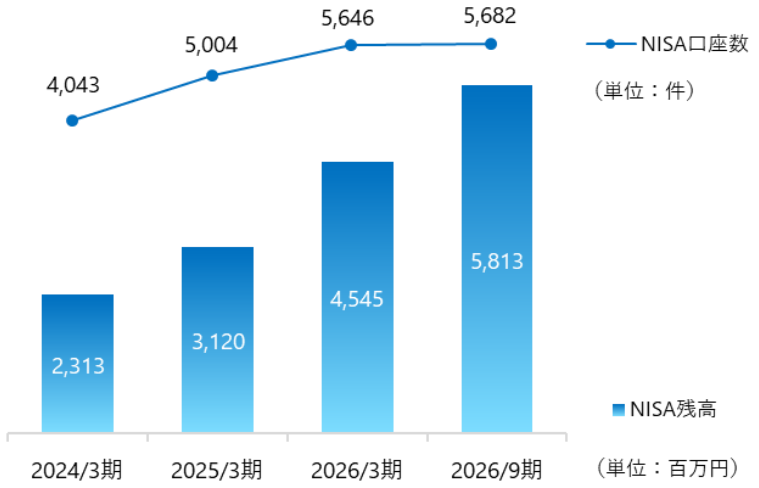
◆ NISA口座数およびNISA残高

NISA口座の口座数は、前年度末比**36口座増加し、5,682口座**となり、**NISA残高**は前年度末比**12億67百万円増加**し、**58億13百万円**となりました。

預かり資産残高（投資信託、個人年金保険、公共債）



NISA口座数およびNISA残高



豊和銀行

- 自己資本比率 -

（単位：百万円、%）

	2025年3月末	2026年3月末	2026年9月末	2026年3月末比
自己資本比率	10.67	8.36	**8.45**	0.09
自己資本の額	35,447	28,843	**29,143**	300
リスク・アセットの額	332,060	344,629	**344,672**	43

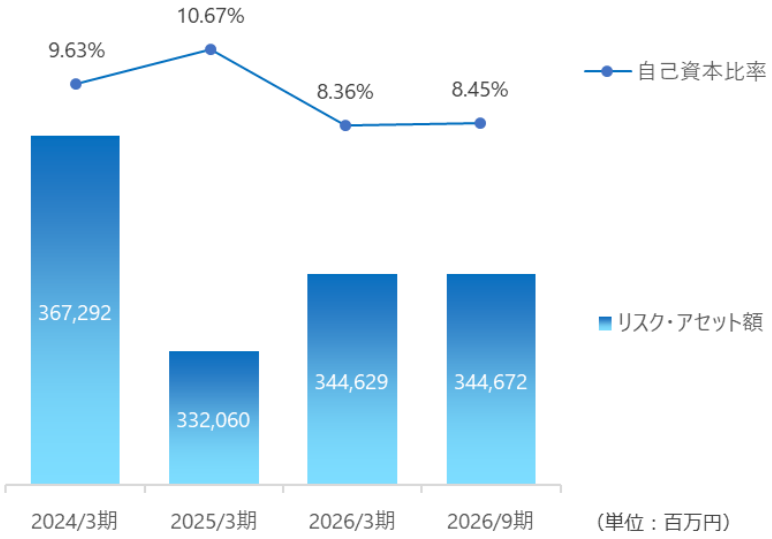
◆ 自己資本比率

自己資本比率は、**自己資本の額およびリスク･アセットの額がともに概ね横ばいで推移**するなか、前年度末比**0.09%ポイント上昇**し、**8.45%**となりました。当行は引き続き、**地域への徹底支援を推し進め、経営基盤の強化に努める一方、内部留保の充実を図り、公的資金（90億円）**については、期限の**2029年3月までに完済できるよう**取り組んでまいります。

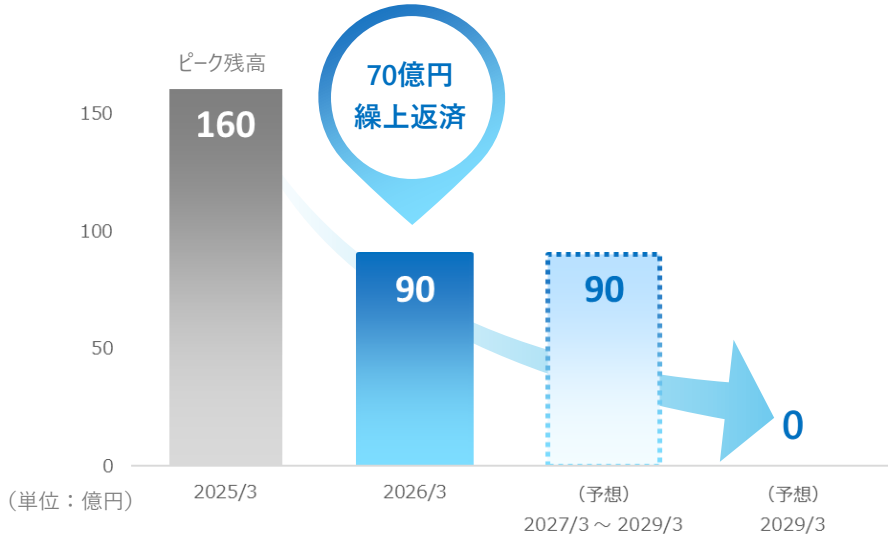
◆ 公的資金の一部返済完了（2026年3月期）

2025年8月1日、当行は、株式会社整理回収機構にお引き受けいただいている**公的資金160億円のうち70億円の繰上返済**を実施いたしました。これに伴い、自己資本の額が減少したことなどから、**2026年3月末**の**自己資本比率は8.36%**となっております。

自己資本比率



公的資金残高



豊和銀行

（単位：百万円）

- 業績予想 -

	2026年9月期 期初予想（※）	2026年9月期 実績	増減	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想（※）	増減
経常利益	400	689	289	1,207	1,220	12
当期（中間）純利益	130	348	218	819	830	10
業務純益	880	1,268	388	1,679	1,900	220
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	810	1,086	276	1,475	1,760	284
コア業務純益	840	1,103	263	1,851	1,830	△ 21
信用コスト	450	459	9	1,087	620	△ 467
（一般貸倒引当金繰入額）	△ 70	△ 182	△ 112	△ 203	△ 140	63
（不良債権処理額）	520	641	121	1,290	760	△ 530

◆ 業績予想

2027年3月期は、**地政学リスクや物価高騰等を背景に信用コストの発生を見込む**一方、**これまでの政策金利の利上げに伴い収益環境の改善**が見込まれます。他方、**人件費（ベースアップ等の処遇改善）や設備投資に伴う物件費の増加等により営業経費は前年度比で増加**する見通しです。こうした環境を踏まえ、**経常利益および当期純利益は、前年度並みとなる業績予想としております。**

なお、第２四半期決算を踏まえた2027年3月期通期の業績予想につきましても、今後の経済状況等の見通しが不透明であることから、**前回（2026年5月14日）発表の予想数値を据え置いております。**

今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

（※）業績予想については、当行が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

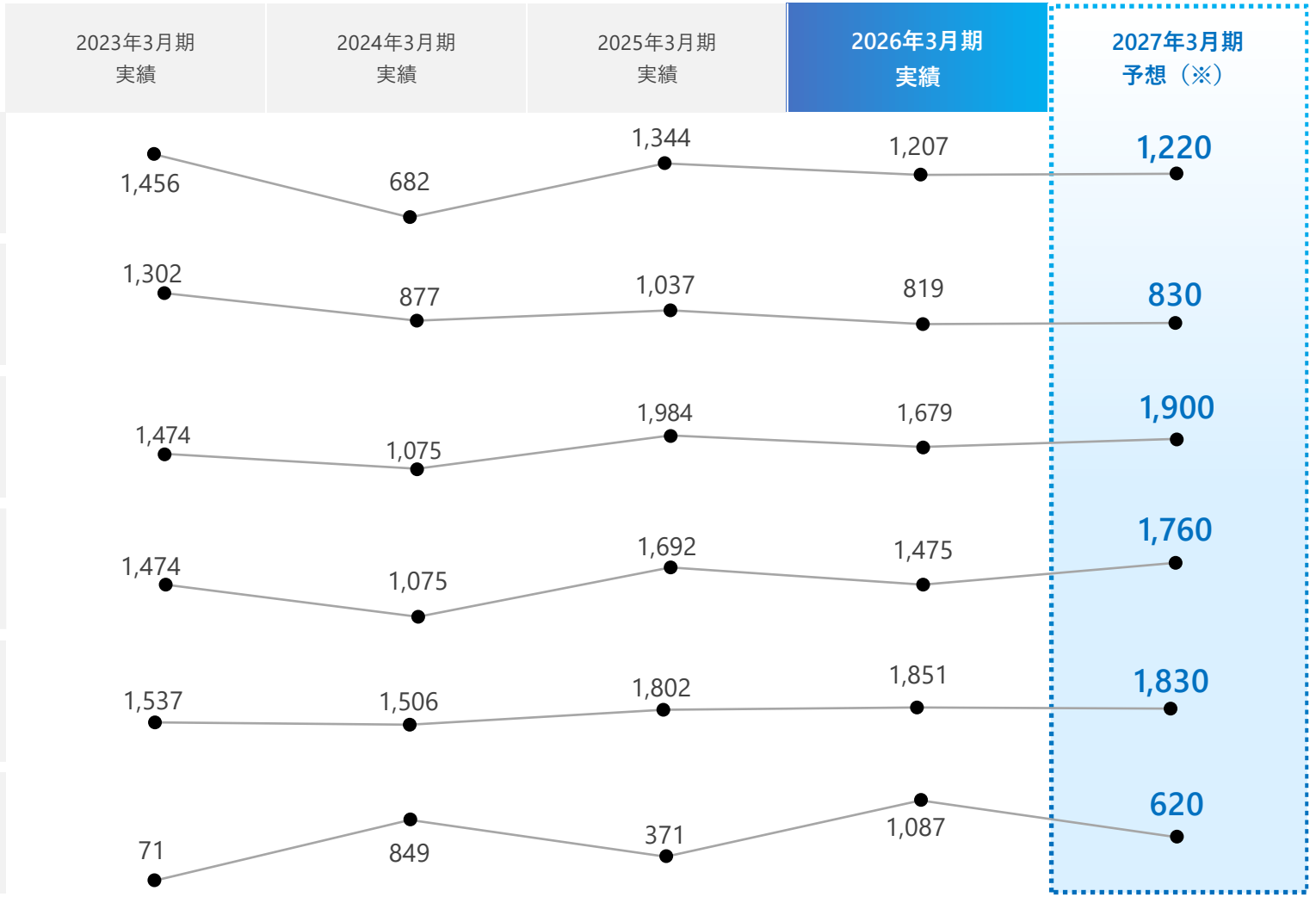
（※）2026年9月期 期初予想及び2027年3月期予想は、2026年5月14日公表分に基づく。

（※）2026年9月期の業績予想について、当行は2026年11月2日に業績予想の修正を行い、経常利益を680百万円（期初予想比＋280百万円）、中間純利益を340百万円（期初予想比＋210百万円）に修正しております。

豊和銀行

（単位：百万円）

- 業績の推移 -



（※）業績予想については、当行が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（※）2027年3月期予想は、2026年5月14日公表分に基づく。

12. 経常収益と経常利益、中間純利益の推移

豊和銀行

（単位：百万円）

- 推移表 -

	経常収益	前年同期比		経常利益	前年同期比		中間純利益	前年同期比	
2026年9月期	6,308	515	増 収	689	49	増 益	348	△ 60	減 益
2025年9月期	5,792	359	増 収	639	△ 364	減 益	408	△ 479	減 益
2024年9月期	5,433	45	増 収	1,004	536	増 益	888	566	増 益
2023年9月期	5,387	596	増 収	467	△ 63	減 益	321	△ 152	減 益
2022年9月期	4,791	△ 438	減 収	530	△ 489	減 益	474	△ 406	減 益
2021年9月期	5,230	339	増 収	1,020	146	増 益	880	15	増 益
2020年9月期	4,890	△ 174	減 収	873	79	増 益	865	138	増 益
2019年9月期	5,065	△ 182	減 収	794	△ 265	減 益	727	△ 276	減 益
2018年9月期	5,247	154	増 収	1,060	294	増 益	1,003	516	増 益

2026年9月期決算は、経常利益ベースでは **増収増益**（2期ぶり）

中間純利益ベースでは **増収減益**（2期連続） となりました。

※ 経常収益の増収は4期連続、経常利益の増益は2期ぶり、中間純利益の減益は2期連続。

豊和銀行

1．経営改善目標の達成状況

● コア業務純益の改善額（収益を示す指標）　（単位：百万円）

	2026年9月期 経営強化計画	2026年9月期 実績	経営強化計画比	達成状況
コア業務純益 ①	854	1,103	+249	達成見込み

※ コア業務純益 ＝ 業務純益 ＋ 一般貸倒引当金繰入額 － 国債等債券関係損益

● 業務粗利益経費率の改善額（業務の効率を示す指標）　（単位：百万円、%）

経費（機械化関連費用を除く）	2,737	2,808	+71	
業務粗利益	4,328	4,590	+262	
業務粗利益経費率 ②	63.23	61.17	△ 2.06	達成見込み

※ 業務粗利益経費率 ＝（経費－機械化関連費用）÷ 業務粗利益

※ 機械化関連費用は、事務機器等の機械賃借料、機械保守費、減価償却費等を計上しております。

2．中小規模事業者に対する信用供与の円滑化の実施状況

● 中小規模事業者等向け信用供与の残高・比率（業務の効率を示す指標）（単位：億円、%）

中小規模事業者等向け貸出残高③	3,168	3,198	+30	達成見込み
総資産残高	5,966	5,954	△ 12	
総資産に対する比率 ④	53.11	53.70	+0.59	達成見込み

※ 総資産に対する比率 ＝ 中小規模事業者等向け貸出残高 ÷ 総資産残高

● 経営改善支援先数の取引先企業総数に占める割合　（単位：先数、%）

経営改善支援等取組先数	386	433	+47	
取引先企業総数	5,718	5,645	△ 73	
比率 ⑤	6.75	7.67	+0.92	達成見込み

※ 比率 ＝ 経営改善支援先数 ÷ 取引先企業総数

◆ 経営強化計画の達成状況

(1) **経営の改善目標である2項目は達成の見込み**です。
- ① コア業務純益
- ② 業務粗利益経費率

(2) **中小規模事業者に対する信用供与の円滑化に関する残高・比率等の目標は3項目すべて達成の見込み**です。
- ③ 中小規模事業者等向け貸出残高
- ④ 中小規模事業者等向け貸出残高の総資産に対する比率
- ⑤ 経営改善支援等取組先数の取引先企業総数に対する比率

◆ 公式キャラクター「ほわにゃ」誕生

当行公式キャラクター「**ほわにゃ**」が誕生しました。長い耳とまつ毛がチャームポイントのねこのキャラクターです。
当行は、これから、この「**ほわにゃ**」とともに、より一層親しみを感じていただける存在となり、地域の皆さまとのコミュニケーションを深めていけるよう、取り組んでまいります。これから「**ほわにゃ**」をどうぞよろしくお願いします。

◆ 「ほわにゃ」誕生記念！定期預金

2026年10月22日より「**ほわにゃ**」誕生を記念した定期預金の取扱いを開始しました。先着2,000名様には「**ほわにゃ**」の限定チャーム付きボールペンをプレゼントいたしました。



キャラクタービジュアルお披露目。
キャラクターのお名前 一般公募開始。



お名前が「**ほわにゃ**」に決定。
正式デビュー。



「**ほわにゃ**」誕生記念！定期預金
取扱開始。



2026/7/31 ― 2026/8/31　2026/10/1　2026/10/22



キャラクターのお名前　一般公募期間

応募総数 **1,760** 件

ほわにゃ's プロフィール

- いつもそばにいてくれる「お守り」のような存在。幸せを呼ぶ「招きねこ」でもあります。
- 長い耳で、お話を聞いたり情報をキャッチするのが得意。
  ねこにしては長い耳がうさぎっぽいと言われることも。
- 大事なご資産を守るため、こっそりパトロールをするのが日課。
- 豊和の「和」＝「輪」になっているドーナツが大好物。



豊和銀行

◆ Vサポートとは

当行お取引先である**【売り手】のお客さまの商品・サービス**を**【買い手】となる当行お取引先のお客さま**へご紹介し、**【売り手】【買い手】双方のお客さま**から**「ありがとう」を集める取組み**です。さらに、近時は、**課題解決提案に加え、「一歩踏み込んだ経営改善支援」による更なる付加価値のご提供**に努めています。
当行お取引先のお客さまが、**サステナブルな経営を継続・発展できる**よう、今後もご支援してまいります。

◆ 一歩踏み込んだ経営改善支援事例 （ 建設業のお客さまの事例 ）

建設業のお客さま

売上は伸びているのに利益が残らない…
どう改善していけばいいんだろう…





豊和銀行

原因を分析し、改善のお手伝いをします！

改善提案 1

積算による精緻な見積書を作り、
適正な利益の確保を目指す

ご提供ツール

シンプルな操作性の
「原価計算フォーマット」



これまで赤字工事もあったが、
採算管理をすることで利益が残るように！

改善提案 2

5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を
徹底し、無理や無駄を見直し、
不要な支出を減らす

ご提供ツール

5S徹底の気づきとなる
「5S改善フォーマット」



「5S」の徹底が従業員の意識改革につながり、
会社の雰囲気も良くなった！

改善提案 3

資金繰り管理を徹底し、
安定した経営を目指す

ご提供ツール

「誰でも」「簡単に」資金繰り管理ができる
「資金繰り表フォーマット」



資金繰り表の活用により、
無駄な支出がなくなった！



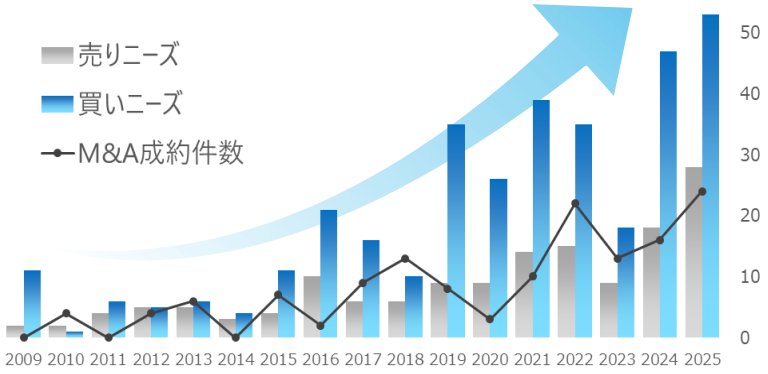
建設業のお客さま

会計ソフト等、専用システムの導入も考えましたが、コスト面や操作面で不安がありました。
豊和銀行さんが作成してくれたツールは、どれもシンプルで使いやすいので経営改善の一歩を踏み出すにあたって最適でした。ありがとう！

豊和銀行

◆ 第三者承継(M&A)の取り組み

当行の**M&A業務**における**売りニーズ**および**買いニーズ**は、近年急増傾向にあります。
当行は**大分県内の産業の発展・雇用の確保に貢献するため、県内企業のお客さまニーズに応え、ご支援してまいります。**



売りサイドのお客さま、
買いサイドのお客さま、
双方のお声に対応させていただくことで
着実にご成約に結びついております。

売りサイドのお客さまの声



- 後継者がいない…
- 人手不足で従業員を集められず、売却したい…
- 事業承継に向けて事業をスリム化させておきたい…
- 不採算事業を売って、資源を集約したい…
- 後継者はいるが他の人に任せて引き続き働かせたい…



＼ご成約／



買いサイドのお客さまの声



- 従業員規模を増やし人員配置をしたい…
- 多角化により様々なリスクを回避したい…
- スケールメリットにより競争優位性をもちたい…
- M&Aにより事業拡大の時間を短縮したい…

◆ 環境省「第7回 脱炭素先行地域」の大分市との共同提案

環境省が実施する「**第7回 脱炭素先行地域**」に大分市ならびに関係事業者とともに共同提案を行い、**大分市が「脱炭素先行地域」として選定されました。**

大分市の計画では、「**一人ひとりが適した医療を受けることができる**」まちづくりに向け、**共同提案者と脱炭素を含む包括的支援策によって「平時」「有事」「市民」の３つの視点から、医療提供体制の持続可能性の向上とレジリエンス強化の同時実現を図ります。**

平 時	脱炭素と金融の視点による、医療機関の経営安定化
有 時	電力源の複層化による、医療機関のレジリエンス強化
市 民	環境教育・防災意識の醸成による医療体制の強化

当行は**医療機関の経営課題に対する適切なソリューションの提供、脱炭素に向けた再エネ・省エネ機器等の設備投資に対する適切なファイナンスの提供**により、**地域課題の解決と脱炭素の取り組みの同時実現に貢献していきます。**

対応するSDGs





脱炭素先行地域選定授与式

◆ 宇佐支店兼長洲支店 移転オープン

2026年6月8日に**宇佐支店**が利便性の高い公共施設近隣に移転オープンいたしました。
また、**2026年6月22日**には**長洲支店**が**宇佐支店の店舗内店舗**として、**同店舗内に移転**いたしました。




テープカットセレモニー


頭取挨拶


新店舗　窓口・カウンター


新店舗　待合スペース


新店舗　外観

これからも、お取引先の利便性を第一に考え、
店舗の効率的な運営に取り組んでまいります。

◆ 富士見が丘支店 リテール店舗化

2026年10月1日より、**富士見が丘支店**を**預金・資産運用・ローンなどの個人のお客さま向けサービスに特化した「リテール店舗」**といたしました。**地域の個人のお客さまのニーズに特化**することで、**よりきめ細やかで迅速な対応**を行ってまいります。
また、これまで**富士見が丘支店でお取扱いしてきた事業性融資などのご相談は近隣の宗方支店**にて承らせていただきます。**事業性融資にかかるスキル・情報・ノウハウを宗方支店に集約**することで、**両支店でコンサルティング力の強化**を図ってまいります。

	変更前	変更後
預金・資産運用・ローン、各種お手続き	富士見が丘支店	富士見が丘支店
事業に係るご融資などのご相談	富士見が丘支店	宗方支店







◆ 当行初の女性支店長 就任

2026年10月1日、富士見が丘支店の支店長として岡野 智子が就任いたしました。
当行初の女性支店長となります。



富士見が丘支店
岡野 智子 支店長

この度富士見が丘支店長を拝命いたしました岡野です。
「女性初」という大任に身が引き締まる思いですが、
周囲への感謝を忘れずに、誠実に職務に邁進してまいります。
お客さまに寄り添い愛される良きパートナーとなり、
行員の誰もが生き生きと挑戦できる、
笑顔と活気あふれる支店を全員で創り上げてまいります！
どうぞよろしくお願いいたします。